



# 単位互換科目 3/17（月）受講申込開始

- ✓ 他大学・短期大学の特色ある授業を受講できる
- ✓ 自分の大学にはない分野を学べる
- ✓ プラスアルファの学びを追究できる
- ✓ 約300の豊富な科目数

9つのカテゴリーから科目を探してみよう



## 文化と芸術

文学、古典、美術、  
芸能などの観点から  
文化と芸術を学び  
感性を高める



## 現代の社会

法学、経済学、  
経営学、社会学  
などの観点から  
現代社会を考える



## ことばと コミュニケーション

外国語や日本語、  
コミュニケーション  
技法を学ぶ



## 生活と ウェル・ビーイング

質の高い生活と  
豊かな暮らしを  
考える



## 環境と自然

環境問題や自然界の  
現象を理解する  
とともに、地理的な  
見方・考え方から  
地域の事象を学ぶ



## 食と健康

食、栄養、健康、  
スポーツなどを  
科学的に学ぶ



## グローバル

グローバルな視点や  
考え方を養う



## 歴史

歴史を  
多角的に学び、  
自分のルーツや  
21世紀を考える



## 心理と哲学

心理学、哲学、  
倫理学など、  
人間の心の科学や  
人間・人生の  
価値を考える

千代田区キャンパスコンソ構成大学：

大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部、共立女子大学・共立女子短期大学、  
東京家政学院大学、二松学舎大学、法政大学

科目の内容や申込方法等は『単位互換科目受講の手引き』を参照ください。

【お問い合わせ】法政大学総長室付教学企画室

TEL：03-3264-9930 E-mail：kyogaku@hosei.ac.jp





# 単位互換ってなに



## Q.01 単位互換制度とは何ですか？

- A. 他大学・短期大学の授業を受講して修得した単位が、所属大学・短期大学の単位として認定される制度です。

## Q.02 誰でも受講できますか？

- A. 科目ごとに履修できる学年等の条件が設定されています。「単位互換科目受講の手引き」「単位互換科目一覧」を確認してください。また、所属大学・短期大学ごとに受講条件を設けている場合があります。窓口で確認してください。

## Q.03 受講できる科目は？

- A. 「単位互換科目一覧」を確認してください。約300の科目があります。

## Q.04 どのように科目を選べばよいですか？

- A. 9つの科目カテゴリーを参考に興味のある科目を選び、詳しい内容を「シラバス」で確認してみてください。「シラバス」のURLは「単位互換科目一覧」を確認してください。

## Q.05 科目を選ぶときに注意することはありますか？

- A. 時間割が大学によって異なります。余裕を持って大学間の移動ができるようにしてください。オンライン（オンデマンドを含む）で実施する授業もあります。「単位互換科目一覧」を確認してください。

## Q.06 受講のために必要な手続きは？

- A. ウェブサイトから申し込み、その後、所属大学の窓口で手続きをしてください。ウェブサイトのQRコードは「単位互換科目受講の手引き」を確認してください。

## Q.07 申込時期はいつですか？

- A. 3/14（月）～3/25（金）、7/4（月）～7/15（金）の年2回です。

## 「もっと極めたい 『好き!』がある人」



C・Hさん  
法政大学 文学部日本文学  
科文芸コース3年

受講科目 「服飾美学」(大妻女子大学)  
「服飾文化論」(大妻女子大学短期大学部)

### 01. 受講のきっかけ

もともと、「原宿系ファッション」が好きでしたが、進路決めの際は、より興味があった「小説を書く」ことを学べる日本文学科に進学しました。実際に小説を書く中で、自分の好きなファッションを題材にして作品を書きたくなり、そのための知識が足りないことに気付きました。丁度その頃、他大の服飾の授業が受講できると知り、自由科目の履修で悩んでいたこともあり受講を申し込みました。

### 02. 受講して良かったこと

一番はやはり所属している大学では学べない内容を学べること。また、自分が履修したのは二つともオンデマンド授業だったので、大学ごとの時間割の違いや、移動時間を気にせずに受講できたのもよかったです。

### 03. 新しい発見や気づいたこと

私が受けた二つの授業では、同じテーマを取り扱うこともあったが、それぞれ別々の資料が取り上げられていたり、別の話題展開されており、「同じ話もこんなに広がるものなんだ」と感じました。自分が法政で学んでいる分野でも、他大学の講義だとまた違った見方ができるかもしれない、と文学系の授業も気になるようになりました。

## 「1人でいろいろなことに 挑戦したい人」



E・Hさん  
大妻女子大学 社会情報学部社会  
情報学科環境情報学専攻 3年

受講科目 「高齢者論」(共立女子大学)

## 「フィールドワークや 地域活性化活動が好きの人」



R・Tさん  
大妻女子大学 文学部  
コミュニケーション文化学科 2年

受講科目 「現代政策学特講Ⅰ(千代田区)」  
(法政大学)

### 01. 受講のきっかけ

他大学の先生の講義を受講していつもとは違う環境に触れてみたかったからです。また、授業内容もとても興味深く自分の大学ではないような授業であったため受講しようと思いました。

### 02. 受講して良かったこと

自分の大学がある千代田区について今まで知らなかったことに目を向け、様々なことを知ることができたことと、自分の地域と都心部とでの街の様子の違いなどを細かく見て分析することで新たな視点を持つことができたところです。

### 03. 新しい発見や気づいたこと

地域活性化のために様々な活動をしている人がいて、そのような人がいるからこそ各地域が成り立っているのだと感じました。また、千代田区というと大都会でビジネス街や高層ビル街が立ち並んでいて固い印象がありましたが、歴史と現代が折り重なっていて、若者も踏み入れやすい地域であると知ることができました。

### 01. 受講のきっかけ

他大学の授業に興味があったのと、3年になり時間に余裕が生まれ何か新しいことに挑戦したいと思ったから。

### 02. 受講して良かったこと

家政系の授業を聞いたこと。

### 03. 新しい発見や気づいたこと

同じ女子大でも、学生の雰囲気の違いがあることに気づきました。興味深い発見でした。